

「3年間を振り返って」

3組 藤原歩美

最近ふと鏡を見たとき、私ってこんな感じだっけ？と感じるようになった。ニュースを見て自分なりの解釈をしたり、目に入る情報を取捨選択出来るようになった。この三年間で私は、身体的にも精神的にも成長できたと思う。でもそれは何かをきっかけに一気に成長したのではなく、一歩ずつ日々の生活が変化していったのだと思う。そんな変化した今よく考えることがある。それは社会との繋がりの大切さだ。自宅にいたことが多くなった現在、家族以外との関わりがなくなった。例えば学校、課外活動、趣味の活動、友人と遊ぶ、などの今まで接してきた人たちとの接触が無くなっている。私はそして社会から切り取られたような気持ちで過ごしている。他人と関わらないことは精神的ダメージが大きいことを知った。三年間、いかに人との関わり人に助けられ人に必要とされたか。成長できた要因に、人と関わるが多かったことが挙げられると思う。学校だけが自分の世界だった小中学生とは違い、広い目で社会と関わるようになった高校生時代。そして学校生活も適切な対人関係を築けたと思う。つまり私の言いたいことは、他人とのコミュニケーションは自分を成長させるものであり、自分が自分であることの証明になるということだ。私がそうであったように、人と話さないと自分の生きる意味を見失う。三年間を振り返り、私は様々な人とコミュニケーションをしてきた。そしてコミュニケーションをしないと、自分がだめになることも知った。この三年間は今後の人生にとって重要なことを身をもって学べたと思っている。